



平成 27 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所  
(コード番号：4570)  
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 清 藤 勉  
問 合 せ 先 取 締 役 事 業 統 括 推 進 本 部 長 中 川 正 人  
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)  
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

## アステラス製薬株式会社との新たな共同研究契約締結のお知らせ

当社は、本日開催されました臨時取締役会の決議に基づき、アステラス製薬株式会社（代表取締役社長：畑中好彦、東京都中央区、以下「アステラス製薬」）と、ヒト型フィブリノゲンを原料とした医薬品の製品化を目指した共同研究を更に進める為に、新たな契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

### 【概要】

当社とアステラス製薬は、平成 25 年 12 月 24 日付で「遺伝子組換えカイコを用いて生産されるヒト型タンパク質の医薬品への応用」に関する共同研究契約を締結し、遺伝子組換えカイコで生産したヒト型フィブリノゲンを原料とした医薬品の製品化へ向けた「有用タンパク質の性状に関する基礎検討及び医薬品に向けた製造方法の検討等」を終了し、これらの結果を踏まえ、次のステップに進めるため、更に共同研究を実施して参ります。

当社とアステラス製薬は、遺伝子組換えカイコの生産系により、安全なヒト型フィブリノゲン医薬品の安定供給と生産性向上の実現を目指してまいります。

・製品化へ向けたタイムライン：

	内容	状況
平成 25 年 12 月 24 日付 共同研究	性状に関する基礎検討	平成 26 年 1 月 1 日～ 平成 26 年 12 月 31 日 終了
	医薬品に向けた製造方法の検討等	
本共同研究	ヒト型フィブリノゲンの大量生産 に向けた製造方法の検討等	平成 27 年 3 月 31 日 開始
	パイロットプラント（群馬県前橋市）による試験生産	

※ヒト型フィブリノゲンに関する研究開発の一部は、平成 21 年度から平成 23 年度の間、農林水産省の委託プロジェクト研究「動物ゲノムを活用した新市場創出のための技術開発」において助成金を受けておりました。

【今後の見通し】

当社は、本契約締結により、契約一時金を受領すると共に、研究成果に応じたマイルストーンを受け取る権利を得ます。なお、平成 27 年 3 月期の連結決算において、契約一時金を受領いたしますが、連結業績及び単体業績につきましては、現在精査中であり、確定次第速やかにお知らせいたします。

※契約金等の金額につきましては、事業戦略上の理由により、開示しておりません。また、研究成果に応じたマイルストーンは、研究成果の結果によって、受領できない場合が生じます。

【参考】

フィブリノゲンは、血液凝固に関わる中心的分子であり、外科手術における組織の接着・閉鎖、止血などに使用されております。

・フィブリノゲンは、複雑なタンパク質で微生物等での作製が困難であるため、現在、ヒト血液由来の製剤が使用されている。

  


・IBLは、カイコ繭からヒト型フィブリノゲンを効率よく作る画期的な作製法の開発に成功しております。

⇒カイコ繭から抽出されるヒト型フィブリノゲンは、ウイルス混入の懸念がない。

⇒安全なヒト型フィブリノゲンを安定してカイコ繭より大量生産が可能。

以上